

## 会 議 録

会議の名称	第4回東和地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和2年 6月24日(水)		
	午後 7時 00分 開会		
	午後 8時 30分 閉会		
開催場所	東和総合支所 3階大会議室		
委員出席者	鈴木 和美	委員長	錦織小学校学校運営協議会長
	熊谷 久夫	副委員長	東和中学校学校運営協議会長
	佐藤 一哉	委員	東和中学校PTA会長
	山内 重希	委員	米谷小学校PTA会長
	村田 裕仁	委員	錦織小学校PTA会長
	及川 浩友	委員	米川小学校PTA会長
	舟嶋 茂昭	委員	米谷小学校学校運営協議会長
	菅原 輝雄	委員	米川小学校学校運営協議会副会長
	秋葉 茂雄	委員	米谷地域づくり推進協議会長
	岩淵 俊文	委員	錦織地域振興会長
	佐藤 裕孝	委員	米川地域振興会長
	佐藤 永	委員	米谷こども園保護者会長
	猪股 英明	委員	錦織保育園父母の会副会長
	佐藤 貴弘	委員	米川聖マリア保育園父母の会会長
事務局出席者	高橋 富男		教育長
	小林 和仁		学校再編推進室長
	岩淵 裕喜		学校再編推進室学校再編推進係長
	佐藤 鷹彦		学校再編推進室主事
	佐藤 春香		学校再編推進室主事
傍聴者	0名		
議事	(1) 東和地域における学校再編の検討状況について (2) 統合校の位置について (3) その他		
挨拶	事務局	開会 午後7時00分	
	教育長	開会挨拶	
議事	委嘱状交付	委員へ委嘱状を交付	
	事務局	(前回会議及び今回会議の議事の内容について確認)	
	委員長	議事1「東和地域における学校再編の検討状況について」を議題とする。 事務局に説明を求める。	
	事務局	(資料にもとづきこれまでの検討状況について説明)	
	委員長	事務局の説明や資料の内容に対して質問はあるか。  (無いとの声あり)	

委員長	無い様なので、議事2「統合校の位置について」を議題とする。事務局に説明を求める。
事務局	(資料にもとづき相対評価表及び通学支援シミュレーションについて説明)
委員長	事務局の説明に対して質問はあるか。
委員	通学支援のルート時間はバスが普通に走っての時間か。
事務局	地図アプリで計測しており、乗降時間は含めていない。
委員	現時点でスクールバスを運転している運転手からの聞き取りは行ったのか。
事務局	あくまでシミュレーションで出しているのでもそまではしていない。
委員	このルートで例えばこの頃にある地点でどの児童が乗るかの調査はしているのか。やがてルートの途中からでよくなることも考えられる。
事務局	毎年児童の居住する場所によってルートが変更となると思われる。あくまでも児童が居住すると思われる一番遠い場所から各学校まで大きな道路を通過して何分ほどかかるかを示したものである。
委員	全部で8ルートあり、全て1時間以内には着くだろうとのことだが、各ルートでバスを1台ずつ出した場合ということか。例えば、本当に運用するとなった場合に、錦織1、錦織2とあるがルートそれぞれからバスが出るというわけではないのか。
事務局	錦織1、錦織2としているのは通学時間が1時間を超えない範囲ということで分けている。
委員	運用するにあたっては、錦織ではバス1台でとなるかならないかはまだわからないということか。
事務局	児童の居住地によって若干の変更があると思われる。
委員	最初の説明で東和中学校到着が8ルート、米川小学校だと5ルートと言っていたが今の説明と整合性がとれるのか。別の場所を回って8つのルートを短縮して合わせているのではないのか。
事務局	錦織地区を例とすると、錦織1、錦織2から米川小学校、東和中学校、米谷小学校へ行くルートを記載している。錦織1、錦織2から錦織小学校へ行くルートは記載していないためルートの本数の違いが出ている。
委員	例えば錦織小学校を仮の校舎に決定した場合、米川1、米川2、米川3からそれぞれバス1台ずつ3台で錦織に来るという考え方でよいか。

事務局	<p>仮に錦織小学校を統合校の位置とした場合、米川から3本、米谷から3本となる。これはあくまで現時点でのシミュレーションのため、実際のバスの本数については学校再編の進捗が進み次第確定していく。統合校の位置が決まった時点での児童数は掴めないため、あくまで学校に向かうために一番遠いところからどのくらい時間がかかるかの目安にしてほしい。</p>
委員	<p>あくまで目安だということはわかるが、例えば錦織小学校の現在の児童数は59人だが、バス1台では乗車できないため2台となる。各学校の児童数を定員で割るとバスの台数が決まり、学校の位置が決まればルートが決まってくるということか。それに費用の面もある。</p>
事務局	<p>財源は無限にあるわけではない。乗車定員や乗降を含めて乗車時間を1時間以内に収めなければならないため、具体的状態になってみないと分からない。</p>
委員	<p>原則としてバスのピストン輸送はするのか。</p>
事務局	<p>学校に行く時間もピストン輸送すると倍くらいかかる。学校の授業時間も決まっており、朝早くからバスが動いても大変なのでできるだけ負担が少ないようにしていく必要がある。</p>
委員	<p>事務局として見えた結論は何か。</p>
事務局	<p>前回の会議で時間や距離、位置関係を見てみないとどの辺の学校がよいか掴めないとの意見があったため、今回一番遠いところからこのくらいの時間がかかるというイメージで作成している。これですべて決まるわけではないのであくまで参考として捉えていただきたい。</p>
委員	<p>統合校の位置を考えると教室数が必要である。錦織小学校は6教室、特別支援学級が2クラスあるが現状のままだと入らない。米川小学校は錦織からみれば反対方向に行くような感じになる。統合を前提に話し合いをしているが、仮に東和中学校となると改修費用がかかる。バスの乗車時間に大きな差がないので米谷小学校が候補ではないか。</p>
委員	<p>今日、通学支援シミュレーションをもとに統合校の位置を絞るのか。</p>
事務局	<p>半年ぶりの会議で新しく委員となった方もいるため、統合する前提で進めてきたことを再確認し、校舎の状況や通学にかかる時間などを総合的にご理解いただきたい。今日で全部決まる話ではないので、次回の会議で各団体の意見を揉んでいき、同じ方向を向ければと思う。</p>
委員長	<p>通学支援シミュレーションと相対評価表を確認し、どの位置に決めるのが最適か各団体に持ち帰り検討することは可能か。他に必要な資料はあるか。</p>
委員	<p>先ほどピストン輸送という話が出たが、予算的にもバスの台数は絞られ</p>

	てくると思う。バスの時間を見ると乗降時間は入っていないもののピストン輸送できる距離ではない。東和中学校、米谷小学校に統合するとしてどれだけのバスが出せるのか。財政的にも厳しいのではないか。
事務局	市内でも東和地域が一番広く、通学支援は重要なことだと思う。現状スクールバスは5台稼働しているがシミュレーションによると8台ほど必要になってくる。その経費については致し方ない部分もあるが、できるだけ児童に負担がかからないような形で考えていかなければならないと思っている。
委員	児童が乗車するスクールバスの第1便が7時前にはならないなどボーダーラインを押さえておくべきだと思う。ある地区ではバスが2往復しており、最初の児童が6時50分に乗車している。夏季はいいが冬季はかなりきつい。東和地区の場合、1便、2便では対応できないのではないか。通学支援の予算面ではかなりの負担になると想像している。地図上の距離や時間だけではなく、子どもたちの負担を最初に考えながら進めていくとどこがよいのか見えてくるのではないか。
事務局	時間帯や乗車時間は子どもたちの負担を考え、これ以上悪くならないように距離も含めて考えて対応していきたい。
委員	スクールバスを使用していないためわからないが、現状でもきめ細やかにバス停が配置されているのか。
事務局	各地区の学校で効率的な停留所の配置に取り組んでいただいている。学校再編となれば今の停留所の場所も再検討ということになる。
委員	場所の選定まで動いていく過程の中で、決めるための優先順位を共通理解する必要があるのではないか。子どもたちの負担を最小限にとどめるための通学方法、子どもたちを受け入れるための施設や設備の状況というように絞り込みながら議論を進めていけばよりスムーズに場所の選定までいくと思う。まずは子供たちの負担を最小限にするためにバスの運行方法について要望を集めて議論を進めてはいかがか。
委員	今日の会議でどこまで進めるのか。資料を参考に場所を絞るのか、確認して解散するのか。
委員	持ち帰って再びだと時間がかかるのではないか。
委員	相対評価表を見ると決まってくるような気がする。
委員	もう少しほかにこういうデータが欲しいというものがあれば話し合い、そうでなければだいたい絞ってもよいのではないか。
委員長	位置については様々な思いがあると思う。シミュレーションを見た限りは子どもたちの負担にならない時間で到着できる場所であるほか、教室数も必要になる。具体的な位置をこの場で決められればと思うがいかがか。

委員	校舎の状況や広さ、運動場などの条件で近くても適さない学校があるのではないか。先ほど出たように錦織小学校は難しいなど。
委員	スクールバスの運行となるとバスの発着場の問題がある。
委員	錦織小学校は出入りの場所が少ないのでバスが時間差で来たとしても難しいのではないか。
委員	そういう状況を考えると錦織小学校は難しいのではないか。
委員	候補としては、今の感じでいけば錦織小学校は位置にそぐわないのではないか。教室数を確保できない。変わった構造でオープン教室を区切るのが難しい造りになっている。残り3校となるが、米谷小学校に米川からくると30分以上、反対に米谷から米川小学校に行くと30分以上かかることを考えると、必然的に真ん中の位置にあり教室数も確保できる施設である東和中学校に統合して一つになるのが一番現実的な場所かと思う。
委員	先ほど事務局から今夜は持ち帰り、検討して次の会議でその話をするという説明があったが。
事務局	一番大事なところなので持ち帰り、ここだけではなく皆さんで話をしてから決めていただいたほうがよいかと思う。
委員	コロナ渦で次回会議までの約1ヶ月間に各学校の役員だけなど集まる行事がなく難しいと思う。
委員	それは小中学校のPTAに限って持ち帰るのではないのか。学校運営協議会では次の会議まで期間が空いてしまう。
委員	こちらの学校運営協議会では来月の頭に運営委員会を開く。そこで皆さんに説明して知恵を拝借したい。
委員長	各団体の代表で来ていただいているので、持ち帰っての検討については各団体にお任せするような形になるがよろしいか。
委員	明日、別件で行政区長と自治会長を呼んで話し合いを持つことにしている。その時に考えを聞くことはできると思う。
委員	7月に執行部会を開く予定であり、1月末にも再編の状況については報告していた。今回改めて具体的にシミュレーションが出たので執行部会に報告して意見をいただきたいと思う。
委員長	各団体に説明して意見を集約いただき、次回の話し合いである程度統合校の位置を決めたいと思うがよろしいか。取りまとめや説明は各団体にお任せし、会議やオンライン、SNSなど情報発信をしたうえで約1ヶ月の期間で何らかの形で集約していただけるとありがたい。

委員	今度の会議日程はいつか。
委員長	これから決めるが、1ヶ月後を予定している。
委員	打合せをする段階で次回統合する場所を決定すると明言していいのか。そこから変わる可能性があるのか。
事務局	次まで必ず決めてほしいというわけではない。次の会議で二つに分かれる可能性もある。
委員	あくまでも希望という形で聞いておけばいいか。
事務局	それが決まらなると次のステップに進めない。重要なところなのでしっかり話して対応いただきたい。
教育長	今の話に加えて要望等をできれば聞いていただきたい。
委員	アンケートを取ったのではなかったか。
事務局	第3回の学校再編準備委員会においてアンケート結果を提示した。内容を参考に各団体で落とし込み、次回会議に臨んでいただきたい。
委員長	では次回までに各団体で検討し、統合校の位置について決定できれば決定したい。それぞれの要望があると思うので決定できるような方法で話し合いをしていただきたい。
委員	決定とはいってもこの会の決定はあくまでも要望であるということをつかしておく必要がある。
教育長	最後は教育委員会で決定するが、この場は重要にしている。
委員	この委員会としての要望を示せばよい。
委員	それぞれ持ち帰って話をするが、その範囲はそれぞれの団体にお任せでよいか。相対評価表や通学支援シミュレーションを見た限りで真ん中にあるので東和中学校がよいのではないかと思ったが、アンケートに東和中学校を積極的に場所の選択肢に含めなかったということもあり、東和中学校とすることのデメリットを確認したい。
事務局	何回か学校訪問をしているが、黒板の高さやトイレの便器の配置など小学校低学年の児童が使うには規模が違っていると考える。もし中学校となった場合は、何らかの形で小学校低学年の児童も使えるような改修は出てくると思う。
委員	アンケートの結果を見ると米谷小学校の校舎を利用という回答が多い。

事務局	アンケートの結果についてはその通りである。アンケートの選択肢のその他に中学校を参考として入れている。
委員	P T Aの会員数による回答数によって一票の重みが違うと思うが、無関係になってしまうのか。
事務局	今の内容はアンケート調査を実施する前に委員と話し合いをしている。P T A会員数で票の増減があるため、あくまでも参考値として捉えていただきたい。数の多寡で物事を決めるのではなく、アンケートを行った組織ごとの大まかな考えという点で参考にさせていただければと思う。
委員	委員でも諸手を挙げて統合に賛成という方は少ないと思う。場所というのは非常に重要なところであり、個人的にも考える時間が欲しい。それぞれの団体の代表として来ているので丁寧な説明や情報を発信し、皆さんのできるだけ都合をもって場所に辿り着いたほうがよいと思う。いつかは決めるが性急にというよりはさらに丁寧に進めていきたい。団体としての意思、最大公約数を導き出していったほうがよいと思う。最初のアンケートには選択肢に東和中学校がなく、その他の70というのは大きな数であり、もう1回アンケートがあってもよいと思う。持ち帰って自分の団体の中でやり取りをしてみたい。
委員	東和中学校となった場合、小中一貫という扱いになるのか。中学校の中に小学校が入って勉強するのは可能なのか。
教育長	校舎はひとつになるかわからないが小学校があり、中学校があるという形である。
委員	新田小学校と新田中学校のような形か。
教育長	その通り。豊里のような小中一貫ではない。
委員	それは同じ建物という解釈か。
教育長	同じ建物でもそういう考え方はできる。
委員	かつて女川町にも小中併設があり、現在は白石市の小原も小学校と中学校が同じ敷地内に併設となっている。
委員	それは建物が別々なのか。一つの建物に小学校と中学校が入っている例が県内や他県であるのか。
委員	体育館は共有となっている。
委員	前例やメリット、デメリットがあれば知りたい。
事務局	前例については調査する。

委員	相対評価表のクラス数について、小学校は9クラスとのことだが現時点での数か。
事務局	相対評価表は第3回会議で提示した資料であり、昨年5月時点の児童数で割り出したクラス数である。
委員	これ以上多くなる可能性はないのか。
事務局	減少の傾向にある。
委員	中学校は5クラスか。
委員	30人学級が始まれば変わってくるのではないか。
委員	今は4クラスで1年生のみ2クラスとなっている。
委員	36人以上で2クラスにできるのか。
教育長	小学校は1、2年生、中学校は1年生のみである。
委員	今後の出生数をみると昨年度も東和地区で30人前後なのか。
委員	県の動きとしては30人学級へ移行していくなどの話はないのか。
教育長	今のところはない。加配は出している。
委員長	未就学児の保護者代表からそれぞれ何かあるか。
委員	次回までに一旦持ち帰り、園の役員や保護者で話し合っしてほしいとのことだが、具体的にこれは必ず決めてきてほしいというのは何か。例えば、園としてこの場所がよいというのをまとめてよいか。それとも候補を用意してくるものなのか。必ず決めることのほかに要望も聞いたほうがよいか。
委員長	通学にかかるバスの乗車時間や確保できる教室数などを踏まえたうえで、園として最適な場所を選んでもらうのが一番だと思う。一つに絞れない場合は次の候補をという形で取りまとめていただきたい。もし、こういうことも分かると決めやすいという要望があれば次の会議で出してもらいたい。
委員	今日の会議資料は役員や保護者に見せて構わないか。
事務局	構わない。
委員	役員だけで決めるとなると東和地域外の小学校に子どもを通わせる予定の保護者もいるため、園でアンケートをとってもよいか。



委員長	各団体にお任せする。
事務局	会議資料については、一部を除きホームページで公開している。
委員	今年度、父母の会がコロナの影響で休止となっている。先生方に今回の内容を伝え、協力をいただいて意見をまとめられればと思う。
委員	このご時世で集まりがない状態なので先生や保護者の協力をいただき、園としての一つの意見を次回までにまとめたい。
委員長	統合校の位置についての今日の協議は以上にしたい。議事3「その他」について事務局から何かあるか。
事務局	次回の日程調整をさせていただきたい。1ヶ月後を予定しており、7月の最終週はいかがか。
委員	8月の第2週のほうが都合がよい。
委員長	8月の3日から7日の間で事務局と調整したい。以上で本日の会議を終了する。
	閉会 午後8時30分